

CAMPUS 八戸学院

vol.63

八戸学院大学
別科助産専攻 令和5年4月新設

3年ぶりの甲子園
一人一役 全員主役



令和5年4月八戸学院大学に 別科助産専攻が誕生します。

母子を支援し、
女性の健康づくりを
支援する
助産師の育成

地域に根ざした
母子保健活動の
実践をめざす

助産師養成
1年課程
定員4名

取得可能資格
助産師国家試験
受験資格

出願期間
令和4年11月8日(火)
～12月2日(金)
試験日
12月17日(土)

出願資格
看護師免許取得者
および
看護師免許取得
見込み者

CONTENTS

- 3 八戸学院大学 別科助産専攻 令和5年4月新設
- 4 3年ぶりの甲子園 一人一役 全員主役
- 6 行政期間×高等教育機関 野辺地町
- 8 研究室訪問
音楽表現～イングリッシュ・ハンドベル演奏による音感教育～
- 10 特別講演 Decision making 私たちの場合
- 11 八戸学院幼稚園「星の子祭」開催！
- 12 八戸学院 TOPICS
- 14 ステラが行く
- 15 ステラ・フォーカス
- 16 地域がキャンパス 種差海岸
- 18 理事長散策

CAMPUS 八戸学院

vol.63



表紙

八戸学院大学短期大学部幼児保育学科の同窓生で結成された「HGJCリンガーズ」は、今年で21年が経ちます。この日は、青森県立美術館で行われたナイトミュージアムでイングリッシュ・ハンドベルの演奏を行いました。平和のベル～愛と祈り・いのちのふしぎ～をテーマに幻想的な音色を響かせていました。

建学の精神 「神を敬し、人を愛する」

カトリックの精神に則る道徳教育を施し、高尚なる人格の完成を期し、現代社会が要請する有為の人材を育成することをもって目的とする。(審判行爲 第3条)

ツバメが巣を作りました！

八戸学院大学硬式野球部「飛天寮」の玄関（軒下）にツバメが巣を作りました。

学生たちも巣からヒナが落ちないように受け皿を作るなど気になる様子。

ツバメの巣は幸運の象徴であり、ツバメは幸せを運んでくれると言われています。

硬式野球部に幸運が舞い込むかも！



- 八戸学院大学
TEL 0178-25-2711
- 八戸学院大学短期大学部
TEL 0178-25-4411
- 八戸学院地域連携研究センター
TEL 0178-25-2789
- 八戸学院図書館
TEL 0178-30-1695
- 八戸学院光星高等学校
TEL 0178-33-4151
- 八戸学院野辺地西高等学校
TEL 0175-64-4166
- 八戸学院幼稚園
TEL 0178-34-5765
- 八戸学院聖アンナ幼稚園
TEL 0178-45-3670
- 八戸学院第二しのめ幼稚園
TEL 0178-25-2488

<https://kosei.hachinohe-u.ac.jp/>

3年ぶりの甲子園 一人一役 全員主役



写真提供：デーリー東北新聞社（8/6付）

三年ぶり11回目の甲子園

硬式野球部監督 仲井宗基

この度、様々な方々のご支援ご協力のおかげで、三年ぶり十一回目の夏の甲子園出場を果たすことができました。何とか初戦の岡山県代表の創志学園に勝利し、二回戦の愛知工業大学名電高校戦で敗れましたが、延長戦にもつれこむ好試合をすることができ、本当に感謝しております。

大会を振り返りますと、決して順調な戦いではありませんでした。青森大会から打線が湿りがちで、三回戦から決勝戦までは苦戦の連続でしたが、過去に築いた伝統の力と選手達の意地で勝ち上がることができました。

また、改めて地域の皆様方のご支援、光星高校関係者からの応援の力の大きさを実感しました。本当にありがとうございました。

今大会で深紅の大優勝旗が白河の関を越え、東北の地に来ましたが、次は八戸に持って来れるよう、日々精進して参りたいと思います。これからもご声援よろしくお願い致します。

1回戦

創志学園 000011001
八学光星 00022003x7 3

2回戦

八学光星 001010300
愛工大名電 100000400
10
65



写真提供：デーリー東北新聞社（8/9付）

悔しさをバネに

硬式野球部主将 洗平歩人

昨年の秋季大会で青森山田高校に完封負け。そのことをバネに厳しい冬を乗り越え希望を持って春季大会に臨んだにも関わらず、またも青森山田高校に敗北。この悔しい経験があったからこそ、最後に甲子園大会出場のチャンスを掴むことができたのだと思います。光星高校としては3年ぶりですが、自分達3年生にとっては初めての甲子園大会。どう動けばよいのか慌てるが多かったのですが、何度も経験されている先生方の的確な指示に従うことでスムーズに行動できました。先輩方が積み上げ成し遂げてきた足跡の理由はここにあるのだと身を持って感じました。

最後の最後に甲子園大会に出場できたことは本当に良かったです。しかし決して満足のいく結果ではなく悔しさが残りました。この悔しさを晴らせるよう、この経験を糧にこれからの人生を歩んでいきたいと思っています。たくさんの応援、本当にありがとうございました。



野球部にエールを

吹奏楽部長 佐々木萌香



私たち吹奏楽部は32名で甲子園へ行ってきました。甲子園へ連れて行ってくれた硬式野球部にはとても感謝しています。一人一人が野球部へエールを届けるために、甲子園球場全体に光星サウンドを響かせることが出来たと思います。甲子園やコンクール東北大会、その他のイベント事で忙しい毎日でしたが、各自が楽しんで演奏出来たことがとても良かったです。

これからも硬式野球部のみならず、光星高校全体を応援し、私達も応援される部活動を目指して頑張っていきたいと思っています。

たくさんの人の力

チアリーダーイング副部長 高橋未彩妃

ずっと憧れだった甲子園で応援することができて最高の思い出になりました。選手たちのために全力で応援できて良かったです。チアだけでなく、野球部、吹奏楽部・在校生、保護者などたくさんの人の力を感じ、感動しました。ヒットを打った喜びをみんなで感ずることができました。たくさんの感動を与えてくれた選手に感謝しています。

また、甲子園での感動をもう一度味わいたいです。



写真提供：デーリー東北新聞社（1段8/7付、3段・4段右8/9付）

行政機関



高等教育機関

野辺地町



町長 野村 秀雄

1963 (昭和38) 年生まれ
1987 (昭和62) 年 法政大学法学部卒業
2007 (平成19) 年 野辺地町議会議員 (1 期)
2011 (平成23) 年 野辺地町議会議員 (2 期)
2015 (平成27) 年 野辺地町議会議員 (3 期)
2019 (令和元) 年 野辺地町長

八戸学院野辺地西高等学校との連携について

野辺地西高等学校におかれましては、昭和48年度に機械科、電気科、建設科の3科からなる光星学院野辺地工業高等学校として創立し、その後は、普通科、保育科、自動車科、情報科と多方面にわたる学科を増設され、近年では、教養進学系列、保育福祉系列、産業技術系列の3コースによる総合学科として改編され、地元根差す高等教育機関として、これまで多くの野辺地中学校の生徒を受け入れていただき、また、多種多様に求められる多くの人財を創出していただきましたことに、深く感謝申し上げます次第です。

さて、野辺地西高等学校と野辺地町との連携につきましては、当町においても社会的問題となっている少子高齢化に伴い、児童・生徒数の減少が進行する中で、児童・生徒に多様な学びの場等を提供することなど、教育の振興に関し、相互の連携・協力そして交流を推進するため、「課外活動等の支援」、「教育についての情報交換及び交流」、「郷土の歴史・文化の継承」を柱に、平成30年7月に「教育連携パートナーシップ協定」を締結しております。そのような中で、平成30年度及び令和元年度に八戸学院カール校で行われたCNEI短期語学研修において、教育連携として海外語学留学生にご支援

できましたことは、大変有意義なものでありました。その他にも、当町では令和2年度から夏休みと冬休みの年2回、人財育成事業として進学塾等から講師を招いて高校生短期講座を開催しておりますが、その際も野辺地西高等学校からは多数の生徒がご参加され、大学進学等を目指して真剣に取り組まれている姿を見ますと、これからも教育の連携を深めていく必要があると改めて感じております。

町において大変喜ばしいことであります。在学青年ボランティア活動では、一人暮らし老人のお宅を訪問しての除雪や老健施設への訪問の他、町の事業及び町内の諸団体が企画したイベント等へも参加していただいております。特に、「のへじ祇園まつり」においては、人口減少及び少子化により、年々祭りへの参加者が減少している中で、平成13年度から参加していただいておりますが、平成30年度からは、初めて全校生徒及び教職員の方々も参加し、お祭りを盛り上げていただいたことは、野辺地町の郷土の歴史・文化の継承として、大変有り難く感じて

おります。

また、クラブ活動の中には、「のへじ祇園囃子保存部」があると聞いておりますので、コロナウィルス感染症の影響で残念ながら今年で3年連続中止となりましたが、「のへじ祇園まつり」が再開される際には、練習の成果を祭りで発表し盛り上げていただき、野辺地町への愛着とその思い出を育んでくださればと思います。

現在は、コロナウィルス感染症対策のため、事業を中止することや事業内容を縮小するなど活動が制限され、連携事業が思うように進まない状況ではあります。今年度は町職員提案により、「町内の高



のへじ祇園まつり



除雪ボランティア



就農体験事業

八戸学院大学及び八戸学院大学短期大学部に期待すること

野辺地町では、町民参画のまちづくりを進めるため、町民と行政が協働してまちづくりに取り組むための共通目標として「未来につなげる幸せのまち のへじ」を将来像とし、その実現に向けて、地域福祉の推進等による「支えあい切れ目のない保健福祉」をはじめ、農業の振興等による「工夫と連携の地域産業」、学校教育の充実等による「誰もが学べる教育」など、6つの基本目標と29の施策からなる「第6次野辺地町まちづくり総合計画」を策定しております。

また、近年人口減少に歯止めがかから

ないことから、人口減少社会を見据えたまちづくりへの取り組みとして、「郷土の生業を造る」「郷土の住みやすさを実現する」「郷土の人の身体と心を守る」「郷土をまします愛し育む 人財」を育てる」を基本目標の柱として、政策パッケージを進めているところであります。

このような政策の対策事業として、町職員の提案を募り、一例ではありますが前段で触れました就農体験事業や町主体で行う高齢者への配食サービス事業を、今年度の新規事業として実施しております。

八戸学院大学及び八戸学院大学短期大学部との教育や各種事業での連携については、まだ未開発ではありますが、当町の課題である様々な分野において、皆さんが学んでいる専門知識を当町で活かせる連携が進み、地域の発展を支える人財の育成と地域課題が解消となる事業ができればと思います。

皆様におかれましては、高等教育機関として県南地域には無くてはならない大学として、地域活動へ積極的に参画することにより、地域の発展を支える担い手としてご活躍され、社会に貢献されることを期待しております。



「第32回国民文化祭・なら2017」に出演

は、キリスト教の歴史のなかで発展してきたこともあり、そのモチーフには、神への祈りというテーマがあります。例えば、ヨーロッパの古い教会の建物に足を踏み入れたとき、その美しさや厳かな雰囲気、言葉にできない感動を覚えた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。そのような歴史的な建築物は、その存在自体が、目に見える空間表現として、その当時の理念を現代に伝えていきます。対して、音楽に込められた想いというのは、誰かがその曲を歌ったり、演奏したりすることを通して、生み出され、継承されていくものだと思います。

音楽には、目に見えないものの、言葉にできないことを表現する力があります。世の中では、言葉や数字などの目に見えるものが価値あるものとされがちですが、音楽が文化として受け継がれてきたことの意味に向き合いながら、子どもの心や感性を育むために、本当に大切なものとは何なのか、保育者養成に携わる者



聖アンナ幼稚園の子どもたちによるハンドベル演奏

として、その内なる感情を探求したいというのが、私の研究テーマです。

幸いにも、ハンドベル研究を本学イノベーションプログラムや後援会特別研究助成のひとつに採択していただき、研究成果の一部として、多くの方の協力のもと、学内外でコンサートを行っています。例えば12月には、「はっぴdeクリスマス」と題して、八戸市中心街のはっちひろばでコンサートを行いました。オーブニングには、八戸学院聖アンナ幼稚園の園児たちにもゲストとして参加してもらい、子ども用のミュージックベルで、「諸人こぞりて」を演奏しました。私のゼミナールの学生たちは、イングリッシュ・ハンドベルで、「アヴェマリア」や「神の御子は今宵しも」等の賛美歌を演奏し、学びの成果を地域に発信することができ

Hachinohe Gakuin Junior College

リンガーズ

イングリッシュハンドベルコンサート 2022

2022年11月13日(日)

開場 13:30 / 開演 14:00

特別出演 ☆キッズリンガーズ☆

八戸市公会堂文化ホール
(八戸市公会堂隣)
八戸市内丸一丁目1-1
TEL 0178-41-1511

入場無料

お問い合わせ: 八戸学院大学短期大学部 TEL 0178-25-4411 (代)
メールアドレス: nakashima@jc.hachinohe-u.ac.jp

今年度は、12月に、幼児保育学科と系列の3幼稚園の合同による「星の子シアターII」の方舟」上演の準備を進めています。これは、短大生と園児たちが協力して子どもの表現や発想を活かし、ひとつの作品をつくりあげる新たな試みです。準備に加わっている園の先生方の多くは、幼児保育学科の卒業生でもあります。

こういった卒業生たちの活躍やつながりこそ、私にとつての財産です。サークルやゼミナール活動でイングリッシュ・ハンドベルを取り組んだ有志たちは、卒業後も有志で「HGIC リンガー

ズ」という演奏チームを結成し、現在も演奏活動を続けています。これまで、毎年の演奏会の他、国民文化祭奈良やハンドベル東北フェスティバル等、県外でも演奏を行いました。また、メンバーたちの子どもを中心に結成された「キッズリンガーズ」も11月のコンサートでデビューする予定です。

歌を歌うこと、音楽を演奏すること、聴くことは、それ自体も楽しいのですが、音楽が作り出してくれたつながりも、大きな魅力と感じています。

現在、幼児保育学科の合唱の授業で使っている楽譜は、故中村キセ先生が編纂されたものを受け継いでいます。私も、本学の卒業生なのですが、学びや生活を通して、音楽が子どもの感性を育むことの大切さや音楽表現を通して、次世代の子どもたちのために何を残すことができるのか、学生や卒業生、本学の教職員の皆さんと共に考え続けていきたいと思っています。

音楽表現 ～イングリッシュ・ハンドベル演奏による音感教育～

■教育・授業

幼児保育学科には、とても素敵なお客さんが来てくれる授業があります。遊びに来てくれるのは、系列の幼稚園の園児たちと先生です。幼児保育学科の音楽の授業では、実際の子どもたちとリトミック遊びをする授業を行っており、リズムに合わせてスキップしたり、一緒に歌を歌ったり、ときには、動物になりきって体を動かしたりします。はじめは、緊張してぎこちなかった学生たちも、授業の終わりに、笑顔が溢れています。小さな子どもたちが、大人を元気にする大きなパワーを与えてくれるのです。

リトミック遊びの楽しい時間を支える保育技術のひとつに、ピアノがあります。実際に、幼稚園教諭や保育士を目指すうえで、ピアノの演奏や弾き歌いは、子どもたちの豊かな情操をはぐくむための大切なスキルとされています。リトミック

八戸学院大学短期大学部
幼児保育学科 准教授

中嶋 栄子

洗足学園音楽大学音楽学部声楽専攻／芸術
学士2015年9月から八戸学院短期大学(現八戸
学院大学短期大学部)幼児保育学科に勤務
2019年4月から現職専門分野 音楽表現
担当科目 ピアノレッスンⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、
音楽、表現Ⅱ、
ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、
合唱Ⅰ・Ⅱ、総合表現

第二ののめ幼稚園の子どもたちとリトミック遊び

遊びの場面で見られるように、ピアノは、音の高低や強弱、速さを変えることで、「うれしい」「楽しい」「さみしい」等の人間の気持ちを表すことができるのです。

ピアノの上達のためには、毎日の小さな努力の積み重ねが不可欠ですが、実習

遊びの場面で見られるように、ピアノは、音の高低や強弱、速さを変えることで、「うれしい」「楽しい」「さみしい」等の人間の気持ちを表すことができるのです。

ピアノの上達のためには、毎日の小さな努力の積み重ねが不可欠ですが、実習

私のゼミナールでは、幼児保育学科前学科長の附田勢津子名誉教授の活動を引き継ぐ形で、イングリッシュ・ハンドベルの活動に取り組んでいます。これまでに、地域の保育園や幼稚園をはじめとして、公民館、病院などで演奏してきました。

■研究・社会貢献

私のゼミナールでは、幼児保育学科前学科長の附田勢津子名誉教授の活動を引き継ぐ形で、イングリッシュ・ハンドベルの活動に取り組んでいます。これまでに、地域の保育園や幼稚園をはじめとして、公民館、病院などで演奏してきました。

を終えた学生からは、「練習ではうまく弾けたけど、園の先生や子どもとの前では、緊張でうまく弾けない」という相談を受けることもあります。保育現場では、実際の子どもへの反応や関わりがあつてのピアノの伴奏や弾き歌いです。そのような意味でも、実際の子どもと関わる機会を設けることができるのは、系列の幼稚園と連携できる本学の強みです。子どものための音楽表現とそれを支える保育者を育てるために、「子どもから学ぶ」ということを含めた保育技術の向上と、一人ひとりの学生の個性や力量に合わせたレッスンを大切にしたいと考えています。

八戸学院幼稚園「星の子祭」開催！



オリジナルうちわの制作

8月20日（土）、八戸学院幼稚園「星の子祭」を開催しました。
各教室には子どもたちの作品や親子制作が飾られ、園庭では光星高校吹奏楽部とチアリーダー部がラスターズによる発表の他、八戸学院大学短期大学部の差波ゼミによる「遊び空間ワークショップ」（砂場遊び・水遊び・石鹸遊び等）、お祭りのお囃子体験、ニユースポーツ体験等が行われ、子どもたちは保護者と一緒に夏の楽しいひと時を過ごしました。



【光星高校】高校生とチアリーダー体験



【短期大学部（加藤ゼミ）】食育とオレンジゼリーのプレゼント

特別講演 Decision making 私たちの場合

7月4日（月）八戸学院大学、光星高校において、講師に法官憲章氏、法官ジョディ氏をお招きし、「特別講演会 ～Decision making 私たちの場合～」を実施。ご自身の経験を基に、人生においてベストな選択するためのアドバイスを送りました。

【講義を終えて】

この度は、このような機会をいただき心より感謝いたします。私たちにとてもこれまでの道のりを振り返ることができ、非常に良い経験となりました。

世の中はたくさんのモノや情報で溢れかえっています。さらにそこには文字通り多種多様な人間がいます。日々「決断」の連続ですが、ともにベストを尽くして自分らしく過ごしていきましょう。八戸学院大学、八戸学院光星高校の皆さん一人一人がどのような人生を歩んでいくのかとても楽しみにしております。

最後に、この講義に向けて八戸学院大学、八戸学院光星高校の皆さまには、たいへんお世話になりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

法官憲章

Presenting our story has been a wonderful opportunity to reflect on the major decisions we have made in our lifetime, thus so far. An advantage of being an international couple is that our cultural differences are obvious, thus highlighting need to compromise, communicate and work hard at our relationship. The process of making a big decision is difficult; pros and cons of each scenario and how they will impact on our Japanese family and our Australian family, required careful consideration and diligent planning. When making tough decisions, the hardest part is uncertainty; you question if you really have chosen the correct path. Fear of the unknown is stressful, hard and terrifying! However, once the decision is made, things tend to fall into place. Perhaps not exactly as planned, nor as quickly as hoped, but eventually you can reflect and be glad of the decision made. We look forward to hearing about how you determine your future direction through your own decision-making and wish you all strength, perseverance and happiness.

法官ジョディ



大学での講演



高校での講演



大学

第62回全日本学生選手権トラック自転車競技大会
スプリント種目で学生チャンピオンに 小原乃亜さん(人間健康学科2年)



トップを目指して頑張ってきたので嬉しいです。日本代表になり国際大会で活躍できる選手を目指して、これからも毎日の練習に真剣に向き合っていきたいと思います。 小原乃亜



光星高

全国高等学校ゴルフ選手権出場！ 佐々木俊輔さん(1年)



【上】250m越えの豪快なドライバーショット
【左】「緑の甲子園」と言われ、各地区の予選を勝ち抜いた代表が集いました

野西高

青森県高体連空手道専門部春季大会
男子団体組手初優勝！



男子団体組手で優勝と女子団体組手で準優勝を果たした空手道部
個人組手でも男女共に優勝するなど大活躍

光星高

第16回東北チアリーディング
選手権大会優勝！



3年ぶりの優勝に笑顔がこぼれます

短大

「八戸小唄流し踊り」学内発表会開催 [7/15]

八戸市中心街で開催される「八戸小唄流し踊り」には、地元の伝統を学ぶ大切な行事として2008年から参加しています。昨年に続き、今年も中止となりましたが、代替行事として学内発表会を開催しました。

学生は、日本舞踊泉流師範の泉紫峰さん、彩葉さんから踊りの指導を受け、その後授業で1ヶ月練習を行いました。

今年は、初の試みとして美保野キャンパスのメインストリートで実施。当日は、浴衣を着た学生約130人が列をなし、緑の木々に囲まれたキャンパスで滑らかな踊りを披露しました。

第10回湊橋八戸小唄まつり [7/30]



短期大学部の2年生が参列しました



短大

幼児保育学科恒例行事「砂浜彫刻」開催 [6/24]



天気にも恵まれ、楽しい砂浜彫刻となりました

大学

短大

ボウリング大会

大学・短期大学部合同のボウリング大会がゆりの木ボウルで行われ、学生33名が参加しました。始球式を地域経営学部地域経営学科 教授 グロスマン先生が行い、ボウリング大会がスタートしました。参加した学生からは「来年もぜひ参加したい！」「最後の大学生生活で良い思い出が作れました！」と感想があり、学外で久しぶりに開催されたイベントで大いに盛り上がりました。



八戸学院聖アンナ幼稚園

「子どもらしく豊かに育つ」モンテッソーリ教室開催！

～モンテッソーリ教育は、子どもだけでなく、子どもに関わる大人までも育てる～

PTAの保護者の方々のご要望により、3年ぶりに、お母さんのためのモンテッソーリ教室を6月に開催しました。真剣な親心が伝わってくる研修会でした。子どもの発達理解は決して容易ではありません。親としての学びが子どもへの見守り方に良い変化をもたらすことを期待したいです。また、この教室が子育て仲間の交流の場にもなると思います。今回の教室の参加者のお声ををご紹介します。

- 子育ての悩みが楽になった。
- 子どもを信じて焦らず見守りたい。
- 異年齢保育から、子どもの、見て学ぶ、やって学ぶ、教えて学ぶが理解できた。
- 発達に見合った環境の大切さを学んだ。
- 成長過程に寄り添うことに喜びをもって一緒に歩んでいきたい。など

子育ては毎日が慌ただしく過ぎていきますが、時には、感じる力がある子どもと、ゆったりと過してみるのがいいのではないのでしょうか。大人は子どもの自然で素直な姿から多くの事を教えられます。子どもはたくさんのかたちを見て感じて生きています。子どもも満たされ、認められることで次のことに向かっていくようになるでしょう。



ステラ・フォーカス



八戸学院3幼稚園
マスコットキャラ
ステラが行く

vol. 14

八戸学院聖アンナ幼稚園

「年長児日帰りの旅」

（本物を使って自分でできた！喜びの先にあるもの）

本物の切符を持った子どもたちは、ドキドキしながら駅員さんにスタンプを押してもらい本八戸駅から鮫駅まで電車に乗って旅に出発！鮫駅から雨の日のお散歩を楽しみながら無島へ。休憩所で説明を聞いてから見たうみねこ。「しっぽはやっぱり黒かったね！」



駅の改札でスタンプ



是川縄文館

その後バスでは川縄文館へ。事前に幼稚園でも発掘を体験した子どもたち。瓶の中に幾層にも積み重なった地層を再現し、こんなに小さな世界でさえも埋まっているものをそのまま掘り起こすことの難しさを体験。大昔の本物の土器などが是川縄文館にはあるんだって！とワクワクしながらやって来ました。暗くてひんやりとした展示室。ちょっと怖いねと言いつつもはじめて見るものにみんな興味津々。縄文時代の人のくらしってこんな感じだったんだ！と感動。日本の宝物「合掌土偶」にも会うことができました。玄関で待ちうけていたのはマスコットキャラクター（合掌）で記念写真を撮りました。

昼食後はショッピングセンターラピアの駄菓子屋さんでお買いもの。今日のおこずかいが300円。もちろん本物のお金！手作りのお財布と新聞紙で作ったエコバックでお買いもの。予算ピッタリの買いもの上手さんになりましたが、やっぱりおつりが欲しいからと一つお菓子を戻す場面も。お菓子をいっぱい買ってみんな大満足でした。



レジでおつりをもらう

最後にキャンドルナイトで終りの会。園庭から摘んだミントを浮かべたサイダーを飲みながら一日の振り返り。やって良かった事に挑戦した一日。本物を使って自分たちでできた喜びに、キャンドル越しの子どもたちの顔は輝いていました。そしてコロナ渦の中、快く送り出して下さったご両親はじめ、日帰りの旅に関わって下さった全ての人に感謝して一日を終りました。

八戸学院第二しののめ幼稚園

雨あがりのひととき！

大雨が降った次の日、幼稚園の園庭には大きな大きな水たまり。そして、大人心も子ども心もくすぐられる、たくさんの泥んこが出現！こんなチャンスはない！と裸足になり、レッツゴー！

汚れることを気にして、はじめの一步がなかなか踏み出せなかったのは、一瞬のこと。ひと足先に先生が裸足になって、泥の中へ。すると、次々に子どもたちも……泥を手や足の甲につけてあげるところから始めてみると、初めての感触に驚いていたものの、すぐに先生の真似をして走り出した子どもたち。すべて転んで全身泥だらけ！水たまりの中に寝転がって、いい気持ち～。ここまですると、服が汚れることや足の裏の感触に抵抗

はなくなり、それぞれ思いのまま、泥んこ・水たまりを楽しむことができました。雨上がりの泥んこ遊びは、そうそうできることではありません。憂鬱な雨降りも、お外に出られないがっかりも、これでぜ～んぶ帳消し！



八戸学院幼稚園

残念だった…けど楽しかった園外保育

5月、7月の園外保育は残念ながら両日とも雨、天気が良ければ大学がある美保野キャンパスに行き、シンボルツリー（噂）の「どんぐりの木」で木登り体験の予定でしたが…。

やむなく雨天時の計画に変更し、八戸学院図書館の見学とチャペル体験、そして絵本の読み聞かせなどで楽しいひと時を過ごしました。「この絵本おっきいね、先生読んで読んで！」「これどうするの、うわあ広がる絵本だ」など、いつもは静寂に包まれている館内ですが、少し控えめな会話と子どもたちの笑顔で少し違った雰囲気があり、図書館職員の皆さんもとても嬉しそうでした。

7月の年長クラスの園外保育は、室内練習場を見学、ニュースポーツや運動遊びなどを行いました。北欧生まれの「モルック」とフランスの伝統的な種目「ペタンク」を体験。特にペタンクでは自分の投げたボールが的のボールに近づく大歓声、大はしゃぎの様子でした。

今回は「残念だった…けど楽しかった園外保育」でしたが、次回の園外保育は“晴れたらいいね★”と今から祈っています。



地域がキャンパス

種差海岸

八戸学院大学や短期大学部がある美保野キャンパスから車で5分の場所にある種差海岸は、三陸復興国立公園に指定された美しい海岸の観光名所です。天然芝生と海の二つの景色を眺めていると心が癒やされ、時間を忘れてしまいます。芝生地、北側には炊事場や水洗トイレなどが設置されているキャンプ場があり、ソロキャンプにもお勧めの場所です。また、ニッコウキスゲやハマギクなど、650種を超える四季折々の植物を堪能できるのも魅力の一つです。この種差海岸では、幼稚園から大学の行事やフィールドワーク、部活動のトレーニングにも使用されています。

種差海岸の魅力を再発見

地域連携研究センターが青森県から受託した「あおもりツーリズム創発塾2022」に地域経営学科の学生21名が参加。「種差海岸」のさらなる魅力の掘り起こしと新たな価値創出のためのフィールドワークを実施しました。

この日のフィールドワークでは、学生達が実際に種差海岸の景観を観たり、歴史や文化等を学び、それぞれが見つけた素材を基に種差海岸を舞台にしたCM動画の制作に向け構想を発表しました。

八戸学院地域連携研究センター長 堤 静子



光星高校陸上競走部

これまで美保野キャンパスをはじめ、東運動公園陸上競技場や種差海岸など練習場所を工夫してきました。

特に種差海岸の芝生での練習を我々はクロスカントリーと呼んでいます。反発の少ない芝での走りは、地面を蹴るのではなくしっかりと押し付ける必要性から、筋力強化はもとより、自然と効率の良いランニングが身に付きます。このことは、全身を使って走るダイナミックなフォームへの改善を促すことに繋がります。

また、起伏の多い不整地を走ることは、心肺機能の強化と、ロード走では鍛えられない細かな筋肉への刺激や体幹強化によるバランスの取れた理想のフォームを自然と身につけることができます。短距離チームにとっては、起伏を使つての坂ダッシュが筋力強化とスピードを高める有効なトレーニングにもなっています。

陸上競走部監督 赤間 俊勝



創部当初から種差海岸を練習場としてきました。自然が作り上げた起伏のある地形は練習に適しており、これまで全国高校駅伝競技大会をはじめ、インターハイ出場を果たしてきました。また、卒業生は、箱根駅伝やニューイヤーマラソン実業団駅伝にも出場しています。

スポーツ科学コースでは、3年次に野外実習として種差海岸自然の家でキャンプ実習を実施しました。

フィールドマックスミリアン 琥珀

(スポーツ科学コース3年)



〈光星高校〉 種差海岸にはこんな場所も！芝生地から車で2分 種差少年自然の家での「キャンプ実習」

6月9日(木)～10日(金)1泊2日で青森県立種差少年自然の家キャンプ場で本校スポーツ科学コース3年次がキャンプ実習を行いました。

テントの立て方、ロープワーク、クッキングコンテスト、ボンファイヤー、イカダ作り、イカダレース等を通して、真の協力・共同の生活を体験することができました。

これまでさまざまな活動を通して学んできたリーダーシップとフォローアップは、しっかりと生徒に根付いていることを実感することができました。

1年次スキー実習や2年次スキー実習(中止)、3年次のキャンプ実習など、スポーツ科学コースの充実した野外実習は、1期生である本年度3年次がパイオニアになってくれたと確信しています。





令和4年度

八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部

新入生講話(下)

学校法人光星学院

理事長・学院長 法官 新一

新入生講話(4/14・15)の内容を掲載。

【道徳とは】

今日の折角の機会ですから、道徳の話にも触れてみたいと思います。

西洋の哲学者アリストテレスは、「神と禽獣には道徳なし。道徳は人のみにある。」と言いました。神様と獣には道徳はない。つまり「神は善」で「禽獣は悪」と言っているのです。人間は「善」「悪」の「心」を持つていて、普段の生活の中で「善」と「悪」の間で葛藤し、苦しみ悩むのである。そういう意味で人間は未完成というのです。「善」か「悪」かの判断ができる人間になるために、道徳を重んじることが大事だということです。善も悪も同居する人間の心、人間が人間らしく生きるという難しさと思うときですね。自分を知ること、自分自身が人として判断できるために人間を磨くこ

とが大事だということですね。

また道徳とは形式の問題ではなく、内面の問題であると言われます。ですから善悪の判断も私たちの心からなされなければならぬ。形式で人を判断して、その行いの結果のみを論ずるべきではないということ。教職にある私たちは大事にしたい。学生諸君もそれなりの年齢と経験を踏まえて、自身の内側にある心からの善悪の判断ができるようになってほしいと思います。ぜひ皆さんは先生方や職員とも、心の触れ合いを通して日常のかかわりをお願いしたいと思っています。技術や便利さや合理性の追求は、知識を積み重ねますが、善悪の判断は知恵を積み重ねることだと言います。人間として生きるための修養は、人との交流から、そして宗教に触れることからです。神社仏閣、

教会に行ってみることも、自身の内側の再発見につながります。本学のキャンパスにもチャペルがあります。時に行ってみて、沈黙考してみることの良いと思います。

【全人教育】

本学の教育方針。唯一無二の個性を大切にし、小原国芳先生が提唱した、全人教育を根本に据えています。人間形成には「真・善・美・聖・健・富」という6つの最も大事な要素があり、「真は学問の理想」、「善は道徳の理想」、「美は芸術の理想」、「聖は宗教の理想」、「健は身体の理想」、「富は生活の理想」といいます。このことについては、すでに本学院が創立した当時に光星学院高等学校の初代校長であるアチール・クルノイエ先生が、

い。

「ファクトフルネス…ハンスロスリング、オーラ、アンナ」10の思い込みを乗り越え、データを基に、世界を正しく見る習慣」

【いろんな人の生き方】

皆さんは若いので、過去立派に世の中のために生きてきた人たちがいます。皆さんにも尊敬する人はいると思います。私も尊敬して手本にしている生き方をした人がいますので、皆さんに紹介したいと思います。

①ステイブ・ジョブスさん

アップル社を創業し、iPadやスマートフォンを開発し世界を変えた人です。中学校の卒業式で校長先生が、「世界には2種類の人がいる。より良い世界に変える人と、世界を居心地の悪い場所に変える人。あなたはどちらですか?」という語りかけでした。「私も世界を変える人間になりたい」と思ったジョブスは、アップル社を創業し、世界の人たちのためになろうとしたのです。

②稲森和夫という人

「京セラ・JAL再生
思いを大切にしたい人
思いから信念へ、信念は悪条件を超えられる、
信念の共有・稲森さんの尊敬する思想家、中村天風の言葉
「人間が生きていくのに一番大切な

は、頭の善し悪しではなく、心の善し悪しだ」

「利他の心を大切に、嘘言うな、人をだますな」という言葉を大事にした人だますな」という言葉を大事にした人

③鍵山秀三郎という人

「イエローハット創業者」掃除の神様
「本物の人間は、言っていることとやっていることが同じ」

「掃除のすばらしさも、簡単には伝わります」
「辛抱して、粘り強くやっていくことが肝要」

④高山良二さん

カンボジアで地雷処理を指導する人
同世代で感銘した…自分は出来るだろうか

「現地の人に技術を指導、やってあげるのではなく自分で。自立を促すことが本当の援助」

高山さんを見て、インドのマザーテレサの施設で会った神父の言葉
「お金はあげたらなくなります。しかし笑顔や優しさは与えてもなくなります」

4人の人を紹介しましたが、若いときに明確な夢を持ち、夢に向かって毎日取り組む姿勢が彼らを作り上げました。心から思い、そして行動に移している人たちです。皆さんもこれから学ぶ時間をたくさん持った学生生活ですから、図書館を活用し、教室や部屋にとどまらず地域の活動にも参加し、豊かな自身の人生の

初の卒業生に対し「単なる知識のみに富んだ学者、あるいはスポーツのみに優れた人間を作ることのみが教育の目的ではありません。豊富な知識、しっかりと道徳性、豊かな芸術性それらが一つに融合したところの円満な人格の完成こそ教育の目的であって、スポーツはその目的がスムーズに遂行されるために必要な手段なのです」と言っています。本校で人間としての豊かさを身につけることを願っている先生の言葉で、今掲げている教育方針と全人教育と合致しています。

【大学で何を学ぶか】

さて皆さんは、大学で何を学びますか。どんな学生生活を送りますか。

創設者中村由太郎先生は、「実学を持って地域に貢献す」と言いました。技術や資格をもって社会に出ることが大事と思ったのです。そうすれば自身の豊かな生活を得られるし、地域社会のためになると考えました。しかし、人として豊かな人生も考え併せた時に、技術だけの資格だけでなく、心豊かな生き方も大事だと思うのです。それは情操だったり品性であったりします。そうした人格形成のために私たちの学院では「全人教育」を前面に出しているのです。

私の時代。私は、八戸が漁業から工業、商業の町に変貌し始めたころ大学に行きました。子供のころは、乗合馬車が走り、道端に大道芸人がいた時代でした。

在り方を学んでほしい。

終わりに、「ミライの授業」という本を紹介したいと思います。何年か前に、過去や未来にイけるタイムマシンは理論上可能という科学者の論文が発表になったことを記憶している。ただ、過去に戻ることはタイムパラドックス、つまり矛盾を招きます。しかし、未来への可能性は大いにあります。言い換えると、未来は皆さんにも平等にあるということです。

今日から始まる大学生活が、皆さんの素晴らしい未来を創ってくれることを願って、話しを終わります。





八戸学院光星高等学校・八戸学院野辺地西高等学校 東北初『East Boy』の制服が誕生！



【ボタン】



【スカート】

East Boyのロゴが刺繍されています。
また、プリーツの裏には、動いた時に
見えるさりげないラインが入っています。



7月27日(水)と29日(金)のアクティブスクールにおいて、令和5年度の入学生からリニューアルされる制服のお披露目ファッションショーを開催しました。照明、音響、ランウェイ用のレッドカーペットなどが本物さながらに設置されたステージで、モデルの生徒たちは効果的かつ堂々と新制服の特色をアピールしました。特に冒頭のヒップホップダンスとモデル全員による軽快なダンスに対し、中学生や保護者から大きな拍手が送られました。有名ブランド『East Boy』による東北初の制服に、男女を問わず多くの中学生が興味と期待を抱いたようです。